



外来診察ゾーン全面リニューアル “新外来”運用開始へ

昨年秋からすすめてきました病院増改築工事。第1期「回復期リハビリテーション病棟増築工事」が今年5月に終了し、6月から新しい病棟での運用を開始しました。引き続き行ってまいりました第2期「外来診療ゾーン全面リニューアルのための改築工事」が9月で終了し、いよいよ連休明け、10月14日から新しい外来診察室での診療を開始します。全面リニューアルとなります外来診療ゾーンについて、その概要を紹介させていただきます。

まず、外来玄関が石山寄りに少し移動をしました。車寄せ場所を確保し、雨の日に車で来院いただいても濡れずに建物の中へ入っていただけるように屋根を設けました。玄関ドアを開けますと風除け室があり、外気が直接エントランスホール（玄関ホール）に入らないよう工夫がされています。玄関から入ってすぐのエントランスホールは、かなりゆとりあるスペースで来院患者さまをお迎えします。患者様のいろいろなお話をお伺いする「総合相談コーナー」（仮称）などが設置できればと調整中です。

ホール正面には医事課が位置し、総合受付、会計窓口があり、左手に進みますと診察待合ホール、外来診察室へつながります。外来診察室・待合ホールエリアは現在の手狭な状態と比べ倍以上のスペースを確保し、ゆったりと広くなりました。療養患者さまの様々なレクリエーション、イベントにも活用していただければと思っています。そして、診察室は現在の3室から4室に増え、その1室は感染症の患者さまにも対応できるようになります。又、検査室が診察室の隣へ移動し診断機能の迅速化に貢献します。外来診療ゾーンの山側には通所リハビリテーションを増設し、今後いっそう需要が増すであろうリハビリテーションへの備えの充実を図ります。

病院30年の歴史の中で、時々の医療環境の変化に対応してきた外来機能ですが、近年、とりわけアメニティーに関し多大のご迷惑と不自由を来院の

皆さまにおかけしてきました。いくつかの課題が改善されるよう配慮を尽くしましたのでご期待下さい。

当院の増改築工事はこれより今年いっ

ぱいを目途とした第3期改築工事へとすすんでまいります。引き続き工事はリハビリテーション機能の一層の充実（リハビリテーションセンターの整備）、ICT（コンピュータやインターネットに関連する情報通信技術）を活用した医療情報システム（電子カルテ）の導入を進めるための施設整備等を目的としています。琵琶湖中央病院は今回の増改築工事を通して病院機能の強化を図り、同時に医療の質の向上に取り組んでいます。

病院創立30周年を機に始まった増改築工事は後少し続きます。

今日までの深いご理解とご協力に感謝申し上げますと共に今後へのご支援をお願いいたします。



新外来玄関

滋賀県重症難病患者医療協力病院に指定

当院は平成26年8月1日付で「滋賀県重症難病患者医療協力病院」の指定を受けました。担当する疾患はパーキンソン病等「神経・筋疾患」で、当院の医療機能が難病患者にとって有効的に活用されれば幸いです。

「第9回いきいき健康教室」を開催します！

開催日時：平成26年10月23日 木曜日

14時00分～15時30分

会場：琵琶湖中央病院 脳卒中予防地域研修センター

内容：①「医学的根拠に基づく生き生きと健康に生きるための方策」

講師・高橋 伯夫（循環器内科）

②ティータイム 栄養科

お問い合わせ：地域連携室（077-526-2144）

申し込み締め切り：10月8日 水曜日

